真実よりも、「どう見られるか？」の方が大事な理由

真実は大事です。しかし、多くの人は真実を見ようとせず、その人の思いこむ真実で話を終わらせてしまいがちです。

例えば、飲食店で食事に髪の毛が入っていた。ここにおいての真実は誰の髪の毛なのか？と言う事です。しかし、例えその髪の毛が自分のだと気が付かない客自身の物であったとしても、謝るのが最善策なわけです。今のご時世、髪の毛一本でも、ソーシャルメディアに書き込みを喰らって、例えそれが真実で無いにせよ、それを見た人は多少なりと影響されてしまうのです。

時として、放火されるような仕打ちを受けるかもしれませんが、放火犯を見つける前に、火を消す事に全身全霊を注ぐべきなのです。

他にも例えば、Appleのパソコン。Appleのパソコンよりも安くて、性能が高いパソコンがあったりしますが、その真実は人にとって関係ないのです。関係あるのは、Appleのパソコンを持って居るあなたが「どう見られるか？」と言う事であり、パソコン自体の性能、値段などの真実は関係ないのです。

そのスタバのコーヒーが他のコーヒーよりも高くて不味い、そのブランド物の服よりも安くて同じ素材の物がある、そんな真実は関係なし。大事なのは、見られ方である事が多くあるわけです。